

発行日／平成 25 年 1 月 31 日

責任者 会議議長 都築正光
編集 議会広報編集特別委員会
事務局 大豊町高須 231
電話 0887-72-0468(直通)

第443回 平成24年12月定例会

一般質問

岩崎町政二期目の政策目標と 基本姿勢を問う

問 課題の多いなか最重点政策は
答 地域コミュニティの再生と森林を
活用した産業施策の推進を図る



前野由和 議員

町長は三期目の町政を担当することとなり、高齢者福祉、集落維持、高知おおとよ製材工場操業に向けての諸課題、木質バイオマス発電調査への理解など課題は多い。今、住民に一番伝えたいことは何か。



岩崎憲郎 町長

高齢化率54割という超高齢化社会に対応した社会資本の整備とともに、町民が安全で安心して暮らせる地域コミュニティの再生に積極的に取り組む。加えて、山村の持つ多様な公益的機能が評価されるなど環境世紀と言われる時代が到来したことをチャンスとして捉え、林業の再生、木質バイオマス発電など、森林を活かした産業施策を積極的に進めるなど、環境世紀にふさわしい元気な山村を再生する。



問 選挙戦を振り返っての自己評価は
答 評価するのは町民

前野由和議員

選挙は町政への関心がもっとも高まっているときた。今後、4年間の取り組みと将来像について語りつくし、政策を直接話しかけることができる絶好の機会を活かしきったと思っているか。町長は雄弁だが、時折、説明不足と思われる場面がある。町政に対する理解度には相当温度差がある。丁寧に説明することによって住民こそが主人公としての認識も深まってくる。集落の将来についても予想以上に衰退化が進んでいる。再編も含めての対応が必要との声が多くなっており、将来に対する不安に答え、安心を提供することが望まれる。住民参加型の町政のためには協力体制をいかに創りあげるかだと考えるが自己評価は。

岩崎憲郎町長

町長職にある者は何事についても、町民のために全力を傾注して努力することが使命であり、その評価は町民がする。その評価を施策に活かして、今後とも努力する。

一般質問

「高知おおとよ製材工場」操業に 対して環境調査は実施しているか

問 低周波・交通安全対策・

排水対策等の環境調査は
答 銘建工業の工場は住宅地内にあるが、
環境問題は発生していない

前野由和議員

工場施設内に送風式の
集塵機や乾燥機、空気調

整器、燃焼装置のボイ
ラー加熱炉・熱風炉など
低周波被害の原因となる

一般質問

岩崎町政2期(8年)の 総括を問う

問 トップランナーになるための施策と目標は
答 我が町の将来像「ゆとりとカントリーおお
とよ」の実現に向けて積極的に取り組んできた



渡辺則夫 議員

町長は8年前、本町を山村のトップランナーに
すると言って町政運営を
行ってきたが、トップラ
ンナーになるための施策

岩崎憲郎町長

ゆとりとカントリー
おおとよでの施策と目標
は、「環境、交流からの
山村の再生」、「山村を支
える住民生活の安全、安
心、快適の実現」、「夢を



高知おおとよ製材工場建設地

機器が導入されると思われるが心配はないのか。本格操業に伴い木材搬入加工品搬出の大型車が急勾配の登り坂を数分間隔で走行することになる。騒音や排気ガス問題、搬入出時間、路面の土ほこり・砂じんの防止、幼児・児童・高齢者など交通弱者への安全対策など川口南地区全体の環境整備など万全の対策を講じているか。また、敷地内にたまった雨水が下方の住宅地へ流水し、災害が発生

しないよう処理できるかもともと水はけが悪く現在でも側溝からあふれた雨水が住宅へ浸水したとの訴えが寄せられている。根本的な改修も含めて検討し、地域住民への不安に対しては丁寧に対応し、地域の要望に応えていくように要請する。

岩崎憲郎町長

岡山県真庭市にある銘建工業では、製材工場操業による環境面での問題が発生していないことが

一般質問

戦後政治と町政を問う

問 戦前と戦後において町政が

答 歴史があつて今日がある
どう変貌したか

前野由和議員

1945年(昭和20年)

8月15日敗戦によって国の在り方が大きく変わった。1947年(昭和22年)5月3日、日本国憲法が施行され憲法五原則が確立された。日本国がどう生まれ変わり、町政にどう反映されたと思うか。①国民主権と国家主権②恒久平和の原則③基本的人権の保障④議会制民主主義の確立⑤地方自治、憲法五原則が町行政の中にしっかりと据えられているか。町が内外に誇れるものは何か。応接室の装飾品にふさわしいものを置くべきだと考える。正面に掲げられている山下奉文氏の軍服姿で正装した遺影はふさわし

全を期し操業する計画である。

いものとは思わない。広島市民が訪問したとき原爆投下のパイロットの写真が掲げられた部屋に案内されたときの感情を考えたときに、他の物に変えるべきだと思う。山下氏の遺書を拝見した。文脈からは軍国主義への反省と平和な国家への思いがつつられている。戦争への反省と歴史に向き合うことを片時も忘れてはいけない。

岩崎憲郎町長

不幸な歴史があつて今日があることを受け止めて将来に向かって取り組んでいかなければならない。前野議員とは考え方が違う。



大畑井地内